

論点Ⅰ（東京におけるエネルギー需給・トランジション）

（電力需要）

- AI化の進展等により、東京エリアでも**データセンターの電力需要が急増**すると見込まれる中、どのような**影響が想定**されるか。また、**産業面での中長期的影響**などを**抑える**ためにはどのような取組が必要となるのか。
- 電力の大消費地である東京でどのように**電化**や**需要マネジメント**を進めるべきか。また、**電化が困難な産業分野の熱需要**への対策については、どのような取組が**有効**か。
- **再エネ等の脱炭素電源立地の偏在性**がある中で、**東京の産業のあり方**をどのように考えるべきか。また、**出力制御抑制**に向けて、**大消費地**としてどのように**取り組むべきか**。
- **将来の電力需要に不確実性**がある中で、需給の**安定**をどのように図るべきか。

（トランジション）

- **2030年代、2040年代における脱炭素化対策**として、東京においてどのような**技術・サービスに重点**をおいて**転換**を進めるべきか。
- **化石燃料からの転換**について、東京ではどのような**ステップ**を踏んで進めていくことが効果的か。
- **サプライチェーン全体**で脱炭素化が求められる中、どのように**企業等の取組**を**後押し**すべきか。

論点Ⅱ（東京における水素の利活用や供給のあり方）

（水素社会推進法に関する取組）

- **水素社会推進法**との関係で東京はどのような部分に力を入れることが最も**効果的**か。**東京の特性**を活かした**水素の利活用**に向け、**価格差支援**や**拠点整備支援**など**国と連携**しながら、**取組を加速**するためにどう工夫を積み重ねることが適切か。

（都内の水素需要の創出）

- 都内で水素の利用先を確実に伸ばしていくため、どのように**需要を掘り起こし、確保**していくか。**上下水道**や**交通インフラ**の運営を担う公営企業等での利用のほか、**港湾エリア**等での潜在的な**需要を具体化**するため、どのような取組に**重点**を置くことが**効果的**か。
- 都内各地に**商用車向けモビリティの水素需要**を生み出すため、**水素ステーション**の設置・運営について、どのような工夫や取組を行うと効果があるか。

（グリーン水素の供給体制の構築）

- 水素の**一定レベルの需要**が立ち上がるまでの間に、どのようなところに**重点**をおいて取組を進めていくべきか。